



2008年3月26日

各位

会社名 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社
 代表者名 取締役社長 若林 純
 (コード番号 8242 東証・大証第1部)
 問合せ先 広報室長 高橋 正明
 (TEL 06-6367-3181)

当社子会社間の合併および当社と株式会社モザイクリアルティの合併 についてのお知らせ

本日開催の当社取締役会において、2008(平成20)年10月1日を期して、百貨店事業、スーパーマーケット事業及びPM事業の当社子会社をそれぞれ合併することを決定しましたので、お知らせいたします。

1. 当社子会社の合併について

エイチ・ツー・オー リテイリンググループでは、2007(平成19)年10月の株式会社阪急百貨店と株式会社阪神百貨店の経営統合以降、統合効果の早期実現を含め、当社グループの長期事業計画「GP10(グランプリテン)計画ver.2」の推進に向けて、取り組みを進めております。

現在、事業再編・機構改革など事業基盤の整備に着手しておりますが、主力となる百貨店事業およびスーパーマーケット事業においては、各事業会社に分散されていた機能の一元化と経営資源の最適配分化を目指して、それぞれ子会社を合併することにいたしました。また、PM事業においては、資産効率の向上を図るため、当社と株式会社モザイクリアルティの合併もあわせて決定いたしました。

なお、本合併は当社100%子会社間もしくは、当社と当社が間接的に100%出資する子会社との簡易合併・略式合併であることから開示事項・内容を一部省略しております。

〔百貨店事業〕

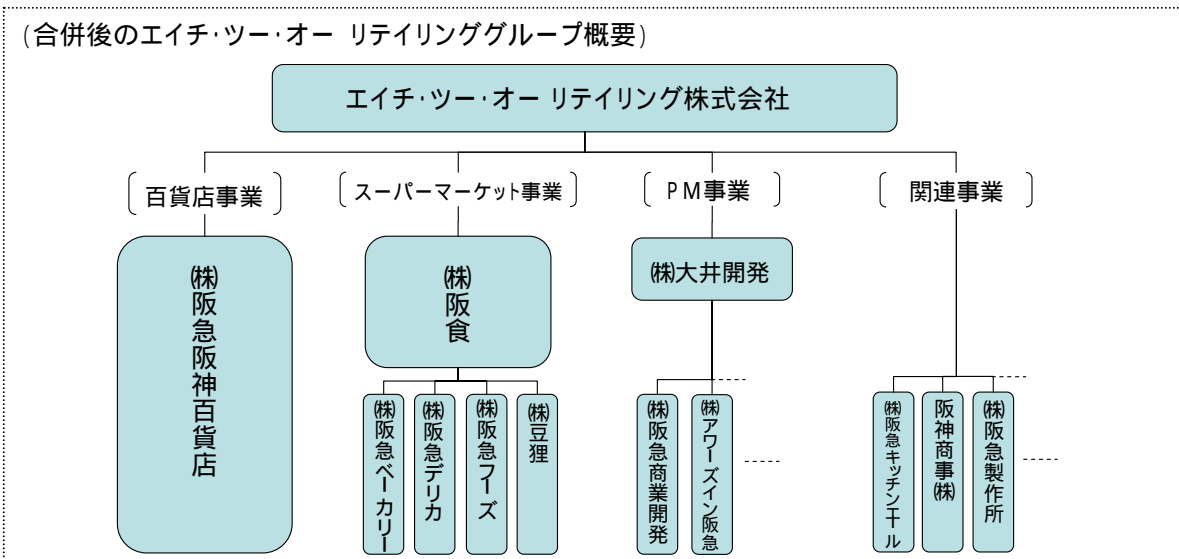
株式会社阪急百貨店と株式会社阪神百貨店

〔スーパーマーケット事業〕

株式会社阪食と株式会社阪急オアシス、株式会社阪急ニッショーストア、株式会社阪急ファミリーストア、株式会社阪急フレッシュエールの5社

〔PM事業〕

当社と株式会社モザイクリアルティ



2. 株式会社阪急百貨店と株式会社阪神百貨店の合併について

(1) 合併の目的

現在、株式会社阪急百貨店と株式会社阪神百貨店では、本年秋を目処に、第一弾としてシステム統合や施設の共同利用、備品の共同購入といった事業インフラの統合を進めるとともに、第二弾としてスタッフ部門の組織再編や業務フローの同期化等に取り組んでまいりましたが、統合作業のスピードアップと統合効果の最大化を図るためには、両社が一体となって取り組む方が効果的であると考え、2008年10月1日をもって両社を合併することに決定いたしました。

今回の合併により、

意思決定のスピードアップと計画遂行の精度向上

人材の有効活用及び効率的な要員配置

重複する業務の再編によるさらなる効率化

商品仕入の一元化による品揃えの強化

などの部分において、従来進めてまいりました百貨店2社体制のもとでの経営統合に比べ、さらに踏み込んだ事業統合を早期に実現することが可能になると考えております。今後、これらの取り組みを通して、さらなる収益力の向上に取り組んでまいります。

尚、今回の合併は事業会社の合併であり、お客様から永く支持されている“阪急百貨店”、“阪神百貨店”という2つのブランドは今後も大切に維持し、各店舗の名称を変更する予定はありません。

(2) 合併の要旨

合併の日程

合併決議取締役会(両社) 2008(平成20)年5月12日(予定)

合併契約締結(両社) 2008(平成20)年5月12日(予定)

株主総会(両社) 2008(平成20)年6月下旬(予定)

合併の予定日(効力発生日) 2008(平成20)年10月1日(予定)

合併の方式

株式会社阪急百貨店を存続会社とする吸収合併方式であります。

(3) 合併当事会社の概要

商号	株式会社阪急百貨店 (存続会社)	株式会社阪神百貨店 (消滅会社)
事業内容	百貨店業	百貨店業
設立年月日	2007(平成19)年10月1日 (2007年10月1日、当社の百貨店 事業を分割し設立)	1957(昭和32)年4月17日
本店所在地	大阪市北区角田町8番7号	大阪市北区梅田1丁目13番13号
代表者の役職・氏名	取締役社長 新田信昭	取締役社長 西川秀郎
資本金	5,000 百万円	4,358 百万円
発行済株式数	100,000 株	35,436,476 株
純資産	34,410 百万円	22,991 百万円
総資産	85,458 百万円	45,259 百万円
決算期	3月末日	3月末日
従業員数	2,800 名	999 名
大株主及び持株比率	イチ・ツー・オー リテイリング(株) 100%	イチ・ツー・オー リテイリング(株) 100%

いずれも単体、2007年10月1日現在

(4) 合併後の状況

新商号	株式会社阪急阪神百貨店		
事業内容	百貨店業		
本店所在地	大阪市北区角田町8番7号		
代表者及び役員の 就任予定	代表取締役 会長	梶岡 俊一	現・エイチ・ツー・オー リテイリング代表取締役会長兼 CEO 兼 阪急百貨店代表取締役会長
	代表取締役 社長	新田 信昭	現・エイチ・ツー・オー リテイリング代表取締役兼阪急百貨店 代表取締役社長兼阪神百貨店代表取締役
	代表取締役	西川 秀郎	現・エイチ・ツー・オー リテイリング取締役兼 阪神百貨店代表取締役社長
	取締役	小林 公平	現・阪急百貨店取締役
	取締役	坂井 信也	現・阪急阪神ホールディングス代表取締役兼 阪神百貨店取締役
	取締役	柳澤 興平	現・エイチ・ツー・オー リテイリング取締役兼 阪急百貨店取締役専務執行役員
	取締役	前川 明	現・阪急百貨店取締役常務執行役員
	取締役	北部 公彦	現・阪急百貨店取締役常務執行役員
	取締役	内山 啓治	現・阪急百貨店取締役常務執行役員
	取締役	今井 英文	現・阪神百貨店取締役常務執行役員
	取締役	安川 茂	現・阪神百貨店取締役常務執行役員
	監査役	小西 敏允	現・エイチ・ツー・オー リテイリング常勤監査役兼 阪急百貨店監査役
監査役	河合 信好	現・阪神百貨店常勤監査役	
資本金	5,000 百万円		
決算期	3月末日		
展開店舗	14店舗(2008年4月1日現在) 阪急百貨店うめだ本店、千里阪急、堺 北花田阪急、川西阪急、 宝塚阪急、神戸阪急、三田阪急、四条河原町阪急、有楽町阪急、 都筑阪急 阪神百貨店梅田本店、西宮店、三宮店、御影店		

(5) 今後の見通し

なお、本合併は当社の連結子会社同士の合併であるため、当社の連結業績に与える影響は軽微であります。

3. スーパーマーケット事業における会社合併について

(1) 合併の目的

スーパーマーケット事業においては、食品スーパーの積極的な出店とともに、2006(平成18)年7月に阪急ニッショーストアを子会社化し、事業規模の拡大を進めてまいりました。そして、2006(平成18)年9月、中間持株会社として(株)阪食を設立し、本部・仕入機能の一元化やシステムの統合、製販体制の整理など、急速な事業規模拡大を支える基盤整備を進めてまいりました。

今回、これらの基盤整備に一応の目処が立ったことを受け、事業全体のさらなる効率化を図るため、(株)阪食と、食品スーパーを運営する(株)阪急オアシス、(株)阪急ニッショーストア、(株)阪急ファミリーストア、及び商品調達を行う(株)阪急フレッシュエールを統合いたします。

今回の合併により、

意思決定のスピードアップと計画遂行の精度向上

事業全体での資産・人材の有効活用と店舗間での効率的な要員配置

仕入の完全一体化による品揃えの強化

規模拡大を支える安定的な財務基盤の構築

といった取り組みが、より効果的・スピーディーに進み、事業全体での収益力強化につながると考えております。

(2) 合併の要旨

合併の日程

合併決議取締役会(各社)	2008(平成20)年5月初旬(予定)
合併契約締結(各社)	2008(平成20)年5月初旬(予定)
株主総会(各社)	2008(平成20)年6月下旬(予定)
合併の予定日(効力発生日)	2008(平成20)年10月1日(予定)

合併の方式

阪食を存続会社とする吸収合併方式であります。

(3) 合併当事会社の概要

商号	株式会社阪食 (存続会社)
事業内容	食品事業会社の統括 及び事業活動の管理
設立年月日	2006(平成18)年9月1日
本店所在地	大阪市北区角田町8番7号
代表者の役職・氏名	取締役社長 千野和利
資本金	100 百万円
発行済株式数	2,000 株
純資産	23,950 百万円
総資産	24,111 百万円
決算期	3月末日
大株主及び持分比率	イチ・ツー・オー リテイリング(株) 83.7% 阪急食品工業(株) 16.3% 2008年3月31日より イチ・ツー・オー リテイリング(株) 100%

商号	株式会社阪急オアシス (消滅会社)	株式会社阪急ニッショーストア (消滅会社)
事業内容	食品スーパーの経営	食品スーパーの経営
設立年月日	1960(昭和35)年10月29日	2001(平成13)年6月1日
本店所在地	大阪市北区角田町8番7号	大阪市北区角田町8番7号
代表者の役職・氏名	取締役社長 加藤千速	取締役社長 川嶋 榮一
資本金	100 百万円	100 百万円
発行済株式数	526,000 株	40,000 株
純資産	1,267 百万円	9,236 百万円
総資産	12,105 百万円	18,485 百万円
決算期	3月末日	3月末日
大株主及び持分比率	(株)阪食 100%	(株)阪食 100%

商号	株式会社阪急ファミリーストア (消滅会社)	株式会社阪急フレッシュエール (消滅会社)
事業内容	食品スーパーの経営	食料品の仕入・卸
設立年月日	2003(平成15)年1月6日	2003(平成15)年7月1日
本店所在地	大阪市北区角田町8番7号	大阪市北区角田町8番7号
代表者の役職・氏名	取締役社長 松元 努	取締役社長 宮崎賢司
資本金	100 百万円	10 百万円
発行済株式数	2,000 株	200 株
純資産	772 百万円	21 百万円
総資産	2,298 百万円	146 百万円
決算期	3月末日	3月末日
大株主及び持分比率	(株)阪食 100%	(株)阪食 100%

いずれも単体、2007年9月30日現在

(4) 合併後の状況

新商号	株式会社阪食		
事業内容	食品スーパーの経営及び商品調達		
本店所在地	大阪市北区角田町8番7号		
代表者及び 役員の就任予定	代表取締役 社長	千野 和利	現・イチ・ツー・オー リテイリング取締役兼 阪食代表取締役社長
	代表取締役	加藤 千速	現・阪食取締役兼 阪急オアシス代表取締役社長
	取締役	梶岡 俊一	現・イチ・ツー・オー リテイリング代表取締役会長兼 CEO 兼阪食取締役
	取締役	北部 公彦	現・阪急百貨店取締役常務執行役員兼 阪食取締役
	取締役	八木 周治	現・阪食取締役専務執行役員
	取締役	朝山 良夫	現・阪急ニッショーストア取締役専務執行役員
	取締役	古谷 慶司	現・阪急オアシス取締役常務執行役員
	取締役	岸本 弘史	現・阪急ニッショーストア執行役員
	取締役	高井 累	現・阪食執行役員
	取締役	松元 努	現・阪食取締役兼 阪急ファミリーストア代表取締役社長
	監査役	曲 雅秋	現・阪食監査役兼阪急ニッショーストア監査役兼 阪急フレッシュエール監査役
資本金	100 百万円		
決算期	3月末日		

(5) 今後の見通し

なお、本合併は当社の連結子会社同士の合併であるため、当社の連結業績に与える影響は軽微であります。

4. 当社と株式会社モザイクリアルティとの簡易合併について

(1) 合併の目的

PM事業におきましては、2007年10月22日に中間持株会社として(株)大井開発を設立し、事業の成長をより効果的かつスピーディーに具現化する取り組みを進めてまいりましたが、今回、グループ全体の資産効率の向上を図るため、休眠状態にある(株)モザイクリアルティを吸収合併することにいたしました。

(2) 合併の要旨

合併方式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、(株)モザイクリアルティは解散します。

消滅会社の新株予約券および新株予約券付社債に関する取扱い

(株)モザイクリアルティは、新株予約券および新株予約券付社債を発行しておりません。

合併の日程、合併比率につきましては未定です。決定次第お知らせいたします。

(3) 合併当事会社の概要

商号	エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 (存続会社)	株式会社モザイクリアルティ (消滅会社)
事業内容	グループ会社の経営企画・管理	不動産賃貸及び管理
設立年月日	1947(昭和22)年3月7日	2002(平成14)年4月1日
本店所在地	大阪市北区角田町8番7号	大阪市北区角田町8番7号
代表者の役職・氏名	取締役社長 若林 純	取締役社長 岡嶋利文
資本金	17,796 百万円	40 百万円
発行済株式数	206,740,777 株	1,600 株
純資産	123,710 百万円(連結)	861 百万円(単体)
総資産	252,101 百万円(連結)	3,219 百万円(単体)
決算期	3月31日	3月31日
大株主及び 持ち株比率	阪急百貨店共栄会 15.9% 阪神電気鉄道(株) 14.3% 阪急阪神ホールディングス(株) 7.5%	(株)阪急商業開発 62.5% (株)大井開発 37.5%

2007年10月1日現在

(純資産、総資産は9月30日現在、(株)モザイクリアルティの大株主及び持株比率は10月22日現在)

注. 株式会社モザイクリアルティは、2007年11月から休眠しております。

(4) 合併後の状況

合併後の当社の商号、事業内容、本店所在地、代表者、資本金および決算期に変更はありません。

(5) 今後の見通し

本合併は、当社の間接的な100%子会社との合併であり、当社の連結業績に与える影響は軽微であります。